



文化博物館だより 第214号

2008年5月11日

みなさん、こんにちは。今日は、『石山寺の美』展最終日。文博は、大勢の方でにぎわしました。

特別開催、十二単

4月29日と5月3日の二日間、『石山寺』展関連のイベントとして、特別に十二単の着付が行われました。急遽、開催が決定したこともあり、4月29日は、当日来館された方の中で希望を募って体験していただきました。お一人目は、着付をしている様子を見ようと訪れた数名のご婦人の中から立候補者ができました。

まず、神社の巫女さんのような袴姿になり、あざやかな緑のお着物から羽織っていきます。着付が始まると、体験学習室に入って来られた方は足を止め、火起こしセットの周囲にある黒いイスが即席の観覧席です。

2回目は、見学されていた中から希望者が出て、体験されることに。ギャラリートークと時間帯が重なったため、一転、静かになってしまいましたが、参加されたご夫婦は、ボランティアさんの説明を聞いて感心しながら、楽しまれました。

十二単などの着付の開催は、毎月ではありませんが、当館の恒例のイベントです。体験はちょっと気後れするという方も、見学は自由ですので、ぜひ様子を見にいらして下さい。もしかしたら、着てみたくなるかもしれませんよ。



「めったにない経験
ができました」

今年も、よろこぶ顔が

昨年、こどもの日に配られたバルーン。今年もボランティアの増田さんが、作って持ってきて下さり、連休中に来館した子ども達に、配りました。プードルや剣、お花などの風船に子ども達の喜ぶ顔が見られました。

三人の男の子達(ご兄弟でしょうか・・・)に剣を渡すと、館を出たところで早速、チャンバラをしている姿がありました。

子ども達、
おいで～



プードルとお花です。

展覧会は今日でおしまいになりますが、源氏物語千年紀の記念年は、まだまだ終わりません。文博は、明日は休館。明後日から16日までは常設展示のみの観覧になります。